

西宮市

子育て世帯の経済状況と生活実態に関する調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

みなさまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

現在西宮市では、子育てしやすい環境づくりと一人ひとりの子どもの状況に応じた支援の充実のため、今後どのような取り組みが必要になるか、検討を進めています。子どもの貧困が社会問題として注目される中、家庭の経済状況にかかわらず、全ての子どもの成長を支えるための方策を検討する上で、子育て世帯の経済状況と生活実態に関する本調査の結果を、基礎資料として活用したいと考えております。

調査は、市内の小学5年生または中学2年生のいる世帯についてそれぞれ2,500世帯ずつ無作為に抽出して送付しております。

調査の性質上、家庭の収入等、プライベートなことについてもおうかがいするものになっていますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成28年9月

西宮市長



○名前は書かないでください。この調査で個人を特定することはありません。

○アンケートはすべて統計的に処理し、統計の報告以外の目的には使用しません。

記入に際してのお願い

- 1 このアンケートは、封筒のあて名の子ども保護者の方が、ご記入ください。
- 2 ボールペンや鉛筆などで、あてはまるものの番号に○をつけてください。
- 3 回答後のアンケートは、二つ折にして、同封の小さな封筒（保護者用）に入れてください。子どものアンケートを入れた封筒（児童・生徒用）とあわせて、返信用封筒（同封の大きい封筒）に入れ、9月26日（月）までに切手を貼らずにポストに入れてください。

この調査は西宮市が行うものです。調査に関することや、ご回答にあたってのわからないことなど、お問い合わせは下記の担当までお願いします。

西宮市 子供家庭支援課 電話番号：0798-35-3782

1 あなた(保護者)ご自身について

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1 男性	2 女性
------	------

問2 現在のあなたの年齢をお答えください。(1つに○)

1 10歳代	3 30歳代	5 50歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代以上

問3 このアンケートが入っていた封筒のあて名のお子さんからみたあなたの続き柄をお答えください。(1つに○)

1 母親	4 祖父	7 その他
2 父親	5 兄・姉などのきょうだい	
3 祖母	6 おじ、おばなど親族	

問4 このアンケートが入っていた封筒のあて名のお子さんの、現在のご両親の婚姻関係についてお答えください。(1つに○)

※(事実婚の場合は「結婚している」、法的には離婚していなくても実質離婚状態で別居している場合は「結婚していない」とお答えください)

1 結婚している(同居している)(事実婚を含む)
2 結婚している(単身赴任等で別居している)
3 結婚していない(離婚した、または離婚に等しい状況で別居している)
4 結婚していない(死別した)
5 結婚していない(結婚したことがない)
6 その他

問5 現在お住まいの住居の種類と建て方についてお答えください。

(①・②のそれぞれについて、1つに○)

①住居の種類
1 持ち家
2 民間賃貸住宅
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅
4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅
5 借間・その他

建て方の種類をおうかがいます。

②住居の建て方の種類
1 一戸建て
2 共同住宅 (マンション、アパート等)

2 ご家族の状況について

問6 このアンケートが入っていた封筒のあて名のお子さんの通っている学校をお答えください。(1つに○)

1 公立の小学校・中学校	4 外国人学校・インターナショナルスクール
2 私立の小学校・中学校	5 その他()
3 特別支援学校(盲・聾・養護学校等)	

問7 このアンケートが入っていた封筒のあて名のお子さんは何人家族ですか
(人数を口の中に記入)

※単身赴任・入院・入所の方など、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族の人数に含めて回答してください。

1 家族の人数(あなたを含めて)	□	人
------------------	---	---

問8 ご家族に含まれる方全員について、該当する区分欄ごとに人数をお答えください。
(①・②それぞれ人数を口の中に記入)

①あて名のお子さんのきょうだいの人数 ※あて名のお子さんを含めてお答えください			②その他の家族の人員 ※あて名のお子さんからみた続き柄でお答えください		
1 小学校入学前	□	人	1 あて名のお子さんの母親	□	人
2 小学生	□	人	2 あて名のお子さんの父親	□	人
3 中学生	□	人	3 あて名のお子さんの祖母	□	人
4 高校生	□	人	4 あて名のお子さんの祖父	□	人
5 大学、短大、専門学校等	□	人	5 その他の家族	□	人
6 就職・その他	□	人			

問9 ご家族の生活費用の稼ぎ手となっている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた続き柄でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1 母親	4 祖父	7 その他
2 父親	5 兄・姉などのきょうだい	8 いない
3 祖母	6 おじ、おばなど親族	

問 10 このアンケートが入っていた封筒のあて名のお子さんのご両親の働き方について、それぞれお答えください。働いていない場合は「8 働いていない」に○をし、働きたいと思うかどうかについてもお答えください。(①・②それぞれについて、1つに○)

※ひとり親家庭等で、母親または父親がご不在の場合は、「9 母親(父親)はいない」に○をしてください。休職中で復帰予定の方は、復帰後に予定されている働き方をお答えください。

①母親の働き方	②父親の働き方
1 正社員・正規職員	1 正社員・正規職員
2 パート・アルバイト	2 パート・アルバイト
3 契約社員・派遣社員・嘱託・準社員等	3 契約社員・派遣社員・嘱託・準社員等
4 自営業・家業	4 自営業・家業
5 内職	5 内職
6 その他()	6 その他()
7 わからない	7 わからない
8 働いていない	8 働いていない
9 母親はいない	9 父親はいない

働いていない方は、働きたいと思いますか

1 働きたい
2 働きたいが、家族の介護や育児のため働けない
3 働きたいが、自身の病気・障害等のため働けない
4 働きたいが、その他の理由で働けない
5 働きたいとは思わない・働く必要がない
6 わからない

1 働きたい
2 働きたいが、家族の介護や育児のため働けない
3 働きたいが、自身の病気・障害等のため働けない
4 働きたいが、その他の理由で働けない
5 働きたいとは思わない・働く必要がない
6 わからない

問 11 お子さんのご両親が最後に通った(または在学中の)学校をお答えください。単身赴任やその他の理由で別居中の方についてもお答えください。

(①・②それぞれについて、1つに○)

①母親	
1 中学校卒	6 大学中退
2 高校中退	7 大学卒
3 高校卒	8 大学院卒
4 専修・専門学校卒 (高校卒業後)	9 その他 ()
5 短大・高専卒	10 わからない

②父親	
1 中学校卒	6 大学中退
2 高校中退	7 大学卒
3 高校卒	8 大学院卒
4 専修・専門学校卒 (高校卒業後)	9 その他 ()
5 短大・高専卒	10 わからない

問 12 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年(2015 年)1年間の、家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。(1つに○)

※家族とは、問7・問8で答えていただいた方全員のことです。

※収入には、月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入を合計してください。

※児童手当や就学奨励、生活保護などの公的な援助手当は除いた額をお答えください。

1	50万円未満	11	500～550万円未満
2	50～100万円未満	12	550～600万円未満
3	100～150万円未満	13	600～650万円未満
4	150～200万円未満	14	650～700万円未満
5	200～250万円未満	15	700～750万円未満
6	250～300万円未満	16	750～800万円未満
7	300～350万円未満	17	800～900万円未満
8	350～400万円未満	18	900～1000万円未満
9	400～450万円未満	19	1000万円以上
10	450～500万円未満	20	わからない

問 13 過去1年間に、次の手当てや援助などを受けたことがありますか。

(①～⑤のそれぞれについて、1つに○)

	受けている	受けたことがある	受けたことがない	答えたくない
① 就学奨励※1	1	2	3	4
② 児童扶養手当※2	1	2	3	4
③ 障害の手当て※3	1	2	3	4
④ 生活保護	1	2	3	4
⑤ 離婚後の配偶者からの養育費	1	2	3	4

※1 学校給食費や学用品費等の支払いにお困りの保護者の方に対し、申請にもとづいて費用の一部を援助する制度です。

※2 ひとり親世帯等（父または母が重度障害者の場合を含む）で、18歳に達した年度末（中度以上の障害のある児童は20歳）までの児童を養育している方に支給される手当です。

※3 障害を理由とした手当には、特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当などがあります。

医療費の助成は除きます。

3 暮らしの状況について

問 14 次のもののうち、経済的理由(お金がなくて買えない、家が狭くて置けないなど)のためにあなたの家庭にないものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1	子どもの年齢にあった絵本や本	8	冷房機器
2	子ども用のスポーツ用品・ぬいぐるみ・おもちゃ	9	電子レンジ
3	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	10	電話(固定電話・携帯電話を含む)
4	洗濯機	11	世帯専用のお風呂
5	冷蔵庫	12	世帯人数分の布団
6	掃除機	13	急な出費のための貯金(5万円以上)
7	暖房機器	14	あてはまるものはない

問 15 次の費用のうち、過去1年間に経済的理由のために支払いができなかったことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1	学校・保育園・幼稚園の遠足費用や修学旅行費などの学校徴収金	7	電話代(固定電話・携帯電話を含む)
2	学校や保育園の給食費	8	公的年金・健康保険・介護保険の保険料支払い
3	家賃	9	所得税や住民税
4	電気代	10	通勤や通学に使うバスや電車の料金
5	ガス代	11	あてはまるものはない
6	水道代		

問 16 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(1つに○)

1	よくあった	3	まれにあった
2	ときどきあった	4	まったくなかった

問 17 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣料が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 よくあった | 3 まれにあった |
| 2 ときどきあった | 4 まったくなかった |

問 18 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、子どもが必要とする文具や教材(学校指定の制服や靴、部活動の道具も含む)が買えないことがありましたか。

(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 よくあった | 3 まれにあった |
| 2 ときどきあった | 4 まったくなかった |

問 19 あなたの世帯では、過去1年の間に子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 20 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|------------|
| 1 大変苦しい | 4 ややゆとりがある |
| 2 やや苦しい | 5 大変ゆとりがある |
| 3 普通 | |

4 あなた(保護者)のことについて

問 21 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(1つに○)

- | | |
|--------|-----------|
| 1 よい | 4 あまりよくない |
| 2 まあよい | 5 よくない |
| 3 普通 | |

問 22 あなたには、現在なんでも相談できる相手がありますか。(1つに○)

- | | |
|------|---------------|
| 1 いる | 2 いない →問 24 へ |
|------|---------------|



問 23 相談できる相手はどんな人ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 9 学校の先生やスクールカウンセラー |
| 2 自分の親 | 10 公的機関の相談員 |
| 3 配偶者・パートナーの親 | 11 民間のカウンセラー・電話相談 |
| 4 きょうだい・親戚 | 12 医療機関の医師や看護師 |
| 5 自分の子ども | 13 民生委員・児童委員 |
| 6 近隣に住む知人や友人 | 14 インターネットのサイト |
| 7 近隣に住んでいない知人や友人 | 15 その他 |
| 8 職場の人 | |

問 24 あなたには、緊急時に子どもを預かったり、助けてくれる人がいますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問 25 あなたは、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1 あなたが成人する前に両親が離婚した | 5 親と疎遠になっている(なっていた) |
| 2 あなたが成人する前に母親が亡くなった | 6 親の介護が負担になっている(なっていた) |
| 3 あなたが成人する前に父親が亡くなった | 7 家庭の経済的な理由で進学をあきらめたり退学したことがある |
| 4 あなたが成人する前の生活は経済的に困っていた | 8 上記のいずれも経験したことがない |

5 このアンケートが入っていた封筒のあて名のお子さんのことについて

問 26 ご家庭では、お子さんの食事をつくる(料理する)ことがどのくらいありますか。

(1つに○)

1 ほとんど毎日	4 週に1日程度
2 週に4～5日程度	5 月に2～3日程度
3 週に2～3日程度	6 ほとんどつくらない

問 27 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。あなた以外の大人がしていることを含めてお答えください。

(①～⑤のそれぞれについて、1つに○)

	ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～2日	めったにない
① お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5
② お子さんが宿題をするように注意する	1	2	3	4	5
③ お子さんと学校生活の話をする	1	2	3	4	5
④ お子さんと一緒に料理をする	1	2	3	4	5
⑤ お子さんと一緒に外出をする	1	2	3	4	5

問 28 あなたのご家庭では、過去1年間にお子さんと次のようなことをすることがありましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1 図書館に行く	5 宿泊をとまなう旅行に行く(帰省以外)
2 美術館・博物館に行く	6 祖父母や親せきの家に泊まりに行く
3 コンサート・音楽会に行く	7 子どもの学校行事に出席する
4 日帰りで遊びに行く	8 地域の行事やイベントに参加する

問 29 お子さんは現在、塾に行ったり習い事をしたりしていますか。費用がかからないサークル活動などは含めずにお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1 学習塾・進学塾	5 スポーツ（水泳、野球、体操、剣道など）
2 家庭教師	6 絵画・音楽・ダンス・茶道などの芸術の習い事
3 通信教育	7 その他（ ）
4 英会話・そろばんなどの勉強の習い事	8 塾や習い事はしていない

問 30 お子さんには、希望として、将来どの学校まで最終学歴として卒業させたいと思いますか。(1つに○)

1 中学校	5 大学
2 高等学校	6 大学院
3 専門学校（高等学校卒業後に進学するもの）	7 その他（ ）
4 高等専門学校・短期大学	8 わからない

問 31 経済的な理由で、希望の学歴まで卒業させることが難しくなるとすれば、お子さんに奨学金を利用させたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 返済義務のない（借金にならない）奨学金であれば利用したい
2 返済義務のある奨学金（借金になる）であっても利用したい
3 奨学金は利用したくない
4 わからない

問 32 次の意見についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものをお答えください。

(①～⑧のそれぞれについて、1つに○)

	そう思う	そう思わない	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
① 学歴が低いと将来希望する職業につけない	1	2	3	4	
② 他のことを我慢しても子どもの教育にお金をかけた方がよい	1	2	3	4	
③ 勉強することでいろいろな考えを身につけることができる	1	2	3	4	
④ 努力すれば夢や希望は実現する	1	2	3	4	
⑤ 子どもには一生懸命勉強してほしい	1	2	3	4	
⑥ 子どもには少しでも早く働いてほしい	1	2	3	4	
⑦ 子どもには早く親元から独立してほしい	1	2	3	4	
⑧ 子どもには家事やきょうだいの世話をしてほしい	1	2	3	4	

6 必要な支援について

問 33 お子さんにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1	保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供
2	低い家賃で住めるところ（寮や下宿のようなところ）
3	生活や就学のための経済的補助
4	進路や生活などについてなんでも相談できるところ
5	仲間と出会え、一緒に活動できるところ
6	自然体験や集団遊びなど多様な活動機会の提供
7	地域における子どもの居場所の提供
8	読み書き計算などの基礎的な学習への支援
9	会社などでの職場体験等の機会の提供
10	仕事に就けるようにするための就労に関する支援
11	子どものみで無料もしくは安価で食事ができる場所の提供
12	進学や資格を取るための発展的な学習の支援
13	その他（ ）
14	特にない
15	よくわからない

問 34 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。(あてはまる番号すべてに○)

1	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2	同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3	地域の人から助けってもらえること
4	離婚のことや養育費のことなどについて法的な相談ができること
5	病気や障害のことなどについて専門的な相談が受けられること
6	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
7	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
8	子どもの就学にかかる費用が軽減されること
9	一時的に必要な資金を借りられること
10	就職・転職のための支援が受けられること
11	その他（ ）
12	特にない
13	わからない

問 35 現在、西宮市が行っている以下の相談窓口について、ご存知ですか。

(①～③のそれぞれについて、1つに○)

	利用したことがある	利用したことはないが、名前は知っていた	利用したこともないし、名前も知らなかった
① 家庭児童相談室	1	2	3
② ひとり親（母子・父子）相談	1	2	3
③ 婦人相談	1	2	3

① 家庭児童相談室（Tel:0798-35-3089）…子供のしつけや虐待に関して広く相談を受けています

② ひとり親（母子・父子）相談（Tel:0798-35-3166）…ひとり親家庭のさまざまな生活上の悩みなどの相談を受けています

③ 婦人相談（Tel:0798-35-3166）…家庭生活等の女性の悩みや心配ごとについて相談を受けています

問 36 日々の生活や子育てのなかで、困っていることがあればご自由にお書きください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。